

第1回 ボランティア活動推進協議会 専門部会検討結果

【第1回協議会専門部会の論点】

第2回協議会で課題ヒアリングシート・センターの現状と課題を共有し、「基本理念」「将来像」に新たに盛り込むキーワードについて具体的に検討する。

①課題ヒアリングシート・センターの現状と課題の整理

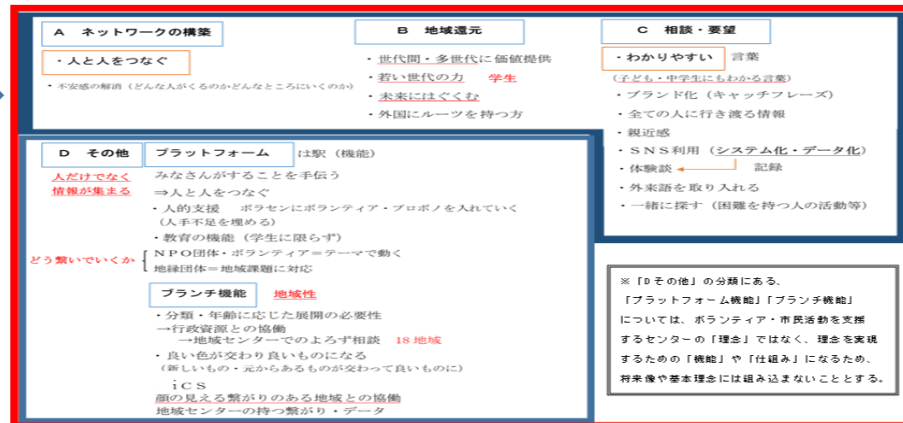
資料3-3 資料3-4 資料3-5 資料3-6

課題ヒアリングシート分類案
各協議会委員の意見を将来像イメージ図（あり方検討会提言）における各機能に分類

A ネットワークの構築	B 地域還元	C 相談・要望	D その他
<ul style="list-style-type: none"> ①つながり（繋がり・ネットワーク）機能するための方策 ②半時からの課題共有・災害時の課題共有及び解決への体制 ③既存活動団体と行政とのネットワーク・ニーズ調査・連携 ④地域人材が活用できる情報ネットワークの構築 ⑤不測の事態に対処できる日頃からのつながり強化 ⑥学習支援ボランティア 安心したマッチング ⑦ボランティア団体との協働を推進する横断的な仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧多世代交流（学生や若い世代の力） ⑨町会加入促進・人員不足 ⑩情報発信・周知 気づきの積み重ね ⑪活動団体への支援（個人情報管理等の法的整理・提供） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑫プラットフォーム ⑬事業のスリム化 ⑭積極的な出張ボランティア ⑮センターのプラットフォーム機能 	<ul style="list-style-type: none"> ⑯センターの外観改修（立ち寄れる魅力的な建物） ⑰プラットフォーム ⑱プラットフォーム ⑲プラットフォーム ⑳プラットフォーム

②分類から見てきた課題やキーワード

資料3-7（キーワード分類 盛り込み案）

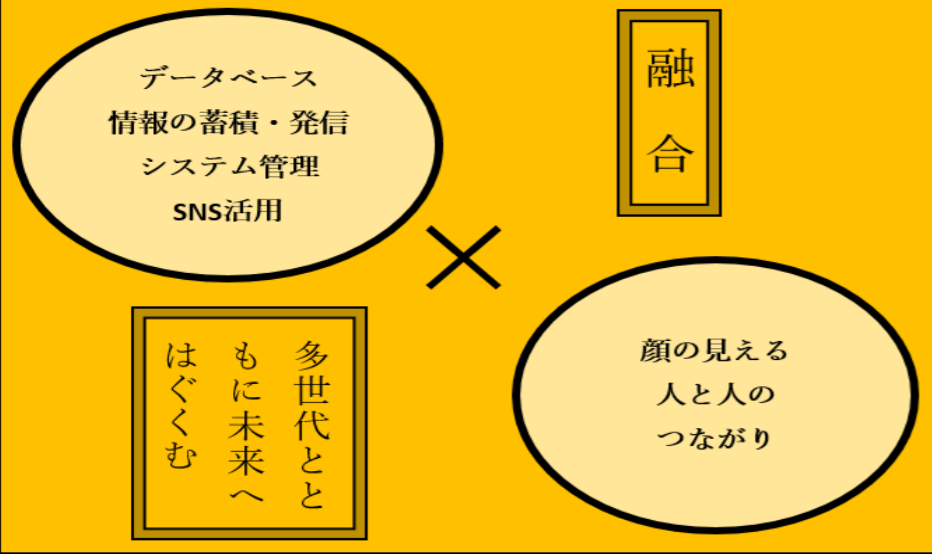


各分野の課題整理

○第1回ボランティア活動推進協議会専門部会を受けて見えてきた、将来像・基本理念にとりこむ視点
「(世代・分野・立場等様々な要素を含んだ) 横断的に人と人をつなぐ仕掛けづくり」

検討の結果、将来像・基本理念への反映ワード

専門部会 検討結果イメージ



SDGs 目標 17

パートナーシップで目標を達成しよう

将来像・基本理念への組み込む概念・ワード

- 人と人をつなぐ (A)
- 多世代・未来にはぐくむ (B)
- 世代間交流 (B)

【表記の際の留意点】
子ども、中学生にも理解される言葉を使用

運営方法（機能）で検討するワード

- システム化・データ化 (C)
- プラットフォーム (D)
- ブランチャ機能 (D)

③将来像・基本理念への組み込み

■将来像■

【あり方検討会提言】
区民活動の多様性を活かし、地域と共に歩むいたばし総合ボランティアセンター

【部会検討案】
区民活動の多様性を活かし、世代を問わず地域と共に歩み未来をはぐくむいたばし総合ボランティアセンター

C F : ~誰もが笑顔になるいたばし~

■基本理念■

【あり方検討会提言】
一人ひとりがより良い日常を送るために、区民・団体・法人に関わらず、それらの自主性に基づき、ボランティア・市民活動を行うことを包括的に支援・推進することを目的として設置する。

様々な分野の多様な団体等の協働を促すため、センターが中心となり、ネットワークを構築し、社会性・創造性の高い活動に寄与することを目指すものである。

【部会検討案】
一人ひとりがより良い日常を送るために、区民・団体・法人に関わらず、それらの自主性に基づき、ボランティア・市民活動を行うことを支援することを目的として設置する。

区民の暮らしを豊かにする様々な活動を推進するため、センターが中心となり、ネットワークを強化し、人と人が安心してつながる「いたばし」をめざすものである。